



なきごえ



1988

12

大阪市
天王寺動物園協会

麻生 泉



私は植物調査を職業としているので、しばしば里山と呼ばれる都市近郊の丘陵地や山地を歩き回っている。調査の目的は、大半がゴルフ場や道路建設などに伴う環境アセスメント

で、植物の生育状況を調査し、開発工事が植物へ及ぼす影響を予測、評価することである。植物は、種によって開花や休眠の時期が異なっているため、同一調査地に春、夏、秋の最低3回は調査に通うことになる。私が動物と接する機会が最も多いのは、この調査の最中であり、四季変化に応じた様々な野性動物が現われてくれる。

植物調査の中でも植生調査は、群落の構成種や構造を調べるために、一つの調査地点に20~30分は留まることから、丁度、鳥類の点センサスをやっている状態となる。すると、シジュウカラ、エナガ、コゲラなどの混群がやって来て、私達が彼らに無関心のふりをしてしていると、頭のすぐ上でさえずったり鳴き交したり、時には羽音をさせながらすぐ手が届きそうな場所までやって来ることもある。出現植物の種類を記録係に伝えるために、こちらは結構大きな声を出しているのであるが、あまり気にしないようである。ダム建設関係の仕事で、川沿いの樹林で調査をやっていたら、頭上約2m位のところの枝にヤマセミがやって来たこともある。わざわざある特定の種を見たいと出かけて行っても滅多に会えない種が、向うからやって来ることも多い。さすがに獣たちは警戒心が強いのか、出会う機会は少ないのであ

るが、時々、調査の最中にカサコンと足音が近づいて来ることがある。調査を一時中断してじっと息をひそめていると、足音がかなり近づき、ビタリと音がしなくなる。私達の存在に気付いて、背後からじっと見ているのであろうか。さて、誰がやって来たのかなど、そっと音がした方向に視線を向けると、大概、ノウサギ、リスやイタチの場合が多いが、目と目が合った瞬間、ピワッとしっぽに緊張感を示して逃げて行ってしまう。次の調査地点へと藪をかき分けながら歩いていると、目の前からシカが飛び出して、まるでヤマドリやキジが足元近くから大きな羽音を立てて逃げ去る時のように驚かされたこともあった。これらの直接的な動物とのふれあいも楽しいが、動物達のフィールドサインを見つけるのも、また別の喜びがある。リスの食べたあとの松ぼっくりや、イノシシの足跡やそこらじゅうを掘り起した跡、ノウサギのポロポロとした糞の塊まり、道沿いの岩の上にピリッと鎮座するテンカイタチの糞などを見つけて、その場所で彼らがどのようなことをしていたか想像をたくましくするのである。野生の動物に出会うためには、こちらから彼らを捜すより、前述のように同じ場所にじっとして、彼らに無関心であるのが良く、彼らの方から何んだと好奇心を持って近づいてくるように思える。彼らは私達と出合って私達のことをどう思っているかを知りたいところである。

四季折り折りに同一場所に出かけていると、たとえ藪山と思っただ山でも、そこに生息する動植物に少なからず愛着の念を感じるようになっていく。調査が終わると、やがて樹木は伐採され、ブルドーザやダンプが走り回り、彼らの生活場所は消滅してしまう。同じ地球上の住人である、彼らと何とか共存していくことはできないかと思うが、現存の社会状況では困難な点が多すぎるのである。

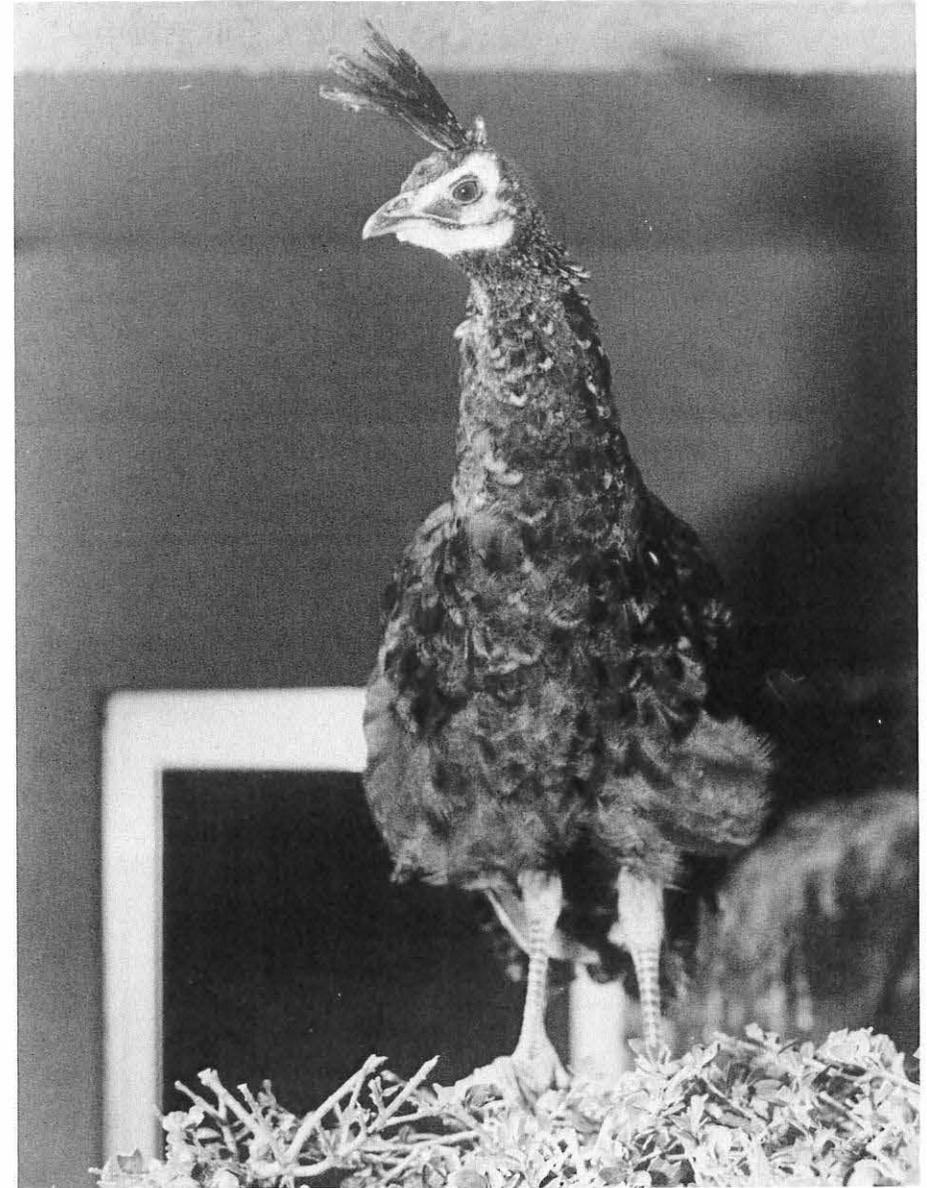
(造園コンサルタント)

なきごえ12月号もくじ

動物と私..... 2
“大きくなったキジ類のヒナ” 3
動物園グラフ・動物園日記..... 4・5
「鳥の楽園」における水禽類の繁殖について..... 6・7
ホッキョクグマ「こゆき」の話題から..... 8・9
動物なんでも相談室①..... 10
動物園ニュース..... 11

表紙の写真説明

グリーンイグアナ Iguana iguana
辰年最後の表紙にはドラゴンと呼ばれることもあるトカゲの仲間が登場してもらいました。いかつい姿ですが、植物食が中心のおとなしいトカゲで、中米から南米中部にかけて生息しています。(撮影：長瀬 健二郎)



“大きくなったキジ類のヒナ”

今年もキジ類のヒナがたくさん人工ふ化しました。セイランやニジキジ、ミミキジをはじめ7種17羽のヒナが無事に成長しました。ほとんどのヒナはすでに他の動物園などに送られました。写真は7月19日にふ化したマクジャクのヒナです。

(撮影：榊原 安昭)

“ただ今、活動中!”

動物園グラフ

動物好きのうえに人前でしゃべるのも大好きという面々の集まりである「大阪動物園ボランティアーズ」の活動ぶりを特集してみました。このボランティア組織は昭和51年にサマースクールのお手伝いという形で発足し、今では動物園での教育活動の一翼を荷って毎日曜、祝日には園内でスポットガイドを行っています。また春と秋には野外ステージで動物クイズや動物紙芝居なども実施しています。(撮影:宮下実)



野外ステージで動物クイズを実施中。「答えはゾウさん、分りましたか?」



胃の中にビニールをためて死んだ動物のことを写真パネルとビニールの実物を見せて説明中。



動物が本当に好きなら、お菓子などはあげないでね!



オランウータンのサブ君の手形と比べてごらん!

9・10月の動物園日記

- 9/28. 保護されたオオルリのメス1羽を自然復帰させました。
- 9/30. 今月19日生まれのアメリカバクの子の体重測定および外部計測を行ないました。
- 10/1. ボイラーの火入れ式が行なわれ、4歳になるメスのチンパンジー“ミナミ”が点火しました。
- 10/3. ヒョウの子に、3種混合のワクチンを行ないました。
- 10/4. ヒョウの母子を、父親と同居させ、展示しました。

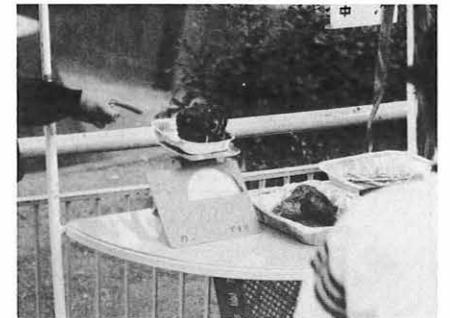
- 10/7. 旧ツル舎にて、日光浴をかねて屋外展示をしていたアルダブラゾウガメ、ヒョウモンガメを、爬虫類舎にもどし屋内展示にしました。
- 10/8. 本年生まれで、日本で初めて人工飼育により育ったワライカワセミのヒナ2羽の性鑑別を実施しました。フクロギツネのメスの袋の中に、赤裸の子供がいるのを確認しました。
- 10/9. グラントシマウマのメス“トモ”が元気が不振で食欲もないため、治療を行ないました。
- 10/10. 保護したハシブトガラスが元気を回復したので、放鳥しました。



チンパンジーの頭骨片手に、体の特徴を説明中。



石を飲みこんで死んだアシカがいたんだよ!



エサと糞の実物も一緒にお見せします。



ほら、ゾウさんの足をよく見てごらん。



ゾウさんの後足って大きいなあ!

(動物園でのボランティア活動に興味をお持ちの方は、動物園ボランティア担当までお問い合わせください。TEL 06(771)8401)

- キーウィのメス“キオト”が鳴いているのを来園後、はじめて確認しました。
- 10/11. カリフォルニアアシカ一番とチャムネシャケイ二番が、上海動物園に贈られました。(大阪市—上海市第7次動物交換)
- 10/13. ペンギン3種(オオサマ、マカロニ、イワトビ)計5羽を、冷房ペンギン舎から屋外展示場へ移動させました。アメリカバク母子を、父親と同居させ、展示を開始しました。
- 10/14. 気温が低くなってきたため、本日からクロサイを夜の間寝室に収容することにしました。
- 10/16. 秋の動物園まつりが閉幕しました。

- 第42回動物のお話とスライドの会「動物園のおじさんの一日」を開催しました。
- 10/17. アメリカバクの子の体の外部計測を行ないました。
- 10/19. カニクイザルのメス“モモコ”を、他のカニクイザルと同居させました。
- 10/23. ジャガーが交尾しました。
- 10/24. オスのキョンが1頭生まれました。
- 10/25. エミューが交尾しました。ホッキョクグマの回虫の駆虫を行ないました。
- 10/27. 本年生まれのカリフォルニアアシカの子の体重測定を行ないました。

「鳥の楽園」における水禽類の繁殖について なきごえ24(12),1988

§ はじめに

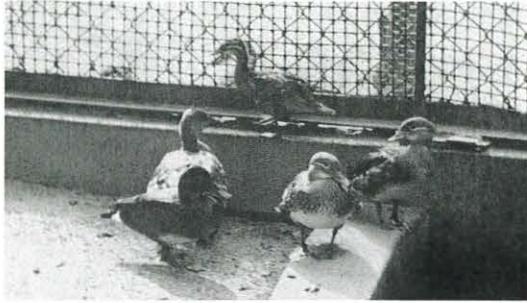
現在バードケージではカモ達の換羽も終り、多くのオスガモが美しい飾り羽に変わっています。特にオシドリ、オウギアイサ、アカハシハジロ、ヒメハジロ、ホンケワタガモは美しく、入園者の目を楽しませてくれます。バードケージが開館して、約14ヶ月、この間、何度か本誌でも紹介され御存知の方も多と思いますが、今回はこの一年の水禽類の繁殖を中心に報告していきたいと思ひます。

§ 産卵

昨年はオープン時に補充したガンやカモ類が比較的若い個体であった事もあり、当初多くの産卵を期待していましたが、産卵数も少なく、数種類のガンカモが産卵しただけでした。

バードケージには、シュバシコウ(ヨーロッパコウノトリ)、シュモクドリ、ウミネコ、ガンカモ類等63種、325羽を雑居飼育している為、特にガンカモ類が自然繁殖しても、大半の幼雛が、シュバシコウ、

シュモクドリに攻撃される為、産卵しても人工孵化せざるを得ません。それでも、キンクロハジロの様に自然孵化し、約1ヶ月間、母仔を隔離して自然繁殖に成功した例もあります。しかし、この時は母鳥が比較的に慣れた個体であったため成功したのであって、慣れていない母鳥では、隔離されることによって落ち着きを失い、幼雛を踏みつけたり、抱か



人工孵化したカモのヒナたち

表一① バードケージ収容鳥類一覧 (昭和63年10月20日現在)

種名	オス	メス	?	計	種名	オス	メス	?	計
[コウノトリ目]				47	[ガンカモ目]				
8種77点				47	ミカツキシマアジ	1			1
					ハシビロガモ	2	2		4
	1			1	ニュージーランドミカツキハシビロガモ	1	1		2
	3	1	3	7	アカハシハジロ	4	7		11
	1	1		2	ホシハジロ	2	2		4
			1	1	アカツクシガモ	1	1		2
	2	2	9	13	ネズミガシラアカツクシガモ	1			1
	1	1	2	4	ツクシガモ	6	7		13
			2	2	メジロガモ	2	2		4
[ベリカン目]					キンクロハジロ	3	2	3	8
1種3点	2	1		3	スズガモ	2	1		3
[ツル目]					ホンケワタガモ	2			2
4種7点	1	1		2	ホオジロガモ	3	3		6
			2	2	キタホオジロガモ	2	2		4
			1	1	ヒメハジロ	2			2
	1	2	2	5	オウギアイサ	3	3		6
[チドリ目]					ミコアイサ	2	1		3
3種13点				1	ウミアイサ	2			2
	2	1	4	7	カオジロオタテガモ		1		1
					サカツラガン	1	1		2
[ガンカモ目]					ロウバシガン	1	1		2
47種225点	3	2	9	14	コクチョウ	1			1
	4	3		7	インドガン	1	2	4	7
		1		1	ハクガン	1	1	1	3
	10	14		24	ハワイガン	1	1		2
	7	8		15	カナダガン	1	1	3	5
	1	1		2	カオジロガン	2	1	1	4
	2	1		3	マゼランガン		1		1
	6	3		9	マガン	2	2		4
	4	3		7	ヒシクイ	1	1		2
		6		6	コクガン	1	1		2
			4	4	アオガン	2	2		4
	1			1					
	6	3	1	10					
	1	1		2					

全合計 63種325点

なきごえ24(12),1988

なかつたりして死なせる事が多いのです。その他にはシュバシコウ、シュモクドリ、アオサギ、コサギ、カナダガンなどが自然繁殖しています。シュバシコウなどは2月頃、柳の枝を丸く組み合せて巣を作ってやります。そうするとペアになったシュバシコウが3月下旬ごろに5~6個を産卵し、約30日で孵化します。

シュモクドリは直径約1mぐらいのドーム型の巣を小枝やドロを使って作り、その中で2月上旬に産卵し、約30日目で孵化します。

カナダガン、インドガンはガンカモ専用で作ったコンクリートの巣の中や、木箱の中で産卵し、中にはワラを細かく切ってひいてやりました。カナダガンは3月下旬に産卵し、29日目で孵化しました。両親はよく面倒を見、他の鳥や人間が近付くと攻撃を加えてヒナを守り、ヒナは他の鳥に攻撃されることなく順調に育ちました。しかし、インドガンは2羽孵化し、親もよく面倒をみていたのですが、他の鳥に攻撃され、育ちませんでした。

§ 人工繁殖

普通、鳥は巣の中で産卵し、温めて孵化するのですが、バードケージのように、雑居で飼育していると、他の鳥に卵をとられたり、孵化しても攻撃を受けるケースが多いので産卵した卵を見つけると取り上げて、孵卵器に入れ、孵化させました。

今年の入卵数は全部で336卵でしたが、全部孵化するわけでは

ありません。無精卵や発生が中止する卵などもあります。機械で孵化させる時に一番大切なのは温度と湿度です。温度は37.6℃、湿度は70~75%に保ち、一日一回、霧吹きで水をかけてやります。そして、朝夕15分間、放冷(孵卵器のドアを開放し、卵をひやすこと)

(表一2)

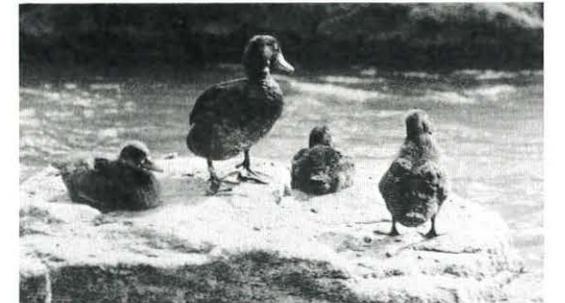
産 卵

鳥名	繁殖期	孵化日数	自然	孵化数	成育数	鳥名	繁殖期	孵化日数	自然	孵化数	成育数
シュバシコウ	3月下旬	30日	自然	13	11	メジロガモ	5月中旬	24日	人工	1	1
シュモクドリ	2月下旬	30日	自然	3	2	キンクロハジロ	7月中旬	25日	人工	4	3
アオサギ	2月下旬 ~3月上旬		自然	2	1	アカハシハジロ	3月中旬 ~5月中旬	25日	人工	27	9
コサギ	4月上旬 ~8月上旬	21日	自然	6	5	オシドリ	5月中旬 ~6月下旬	30日	人工	24	13
ウミネコ	4月中旬	26日	自然	1	0	アカアシコガモ	5月中旬 ~8月中旬	29日	人工	8	3
カナダガン	3月下旬	29日	自然	6	6	アカハシリュウキュウガモ	7月中旬 ~9月上旬	30日	人工	15	10
インドガン	4月中旬	30日	自然	2	0	カルガモ	5月中旬	26日	人工	7	6
ツクシガモ	5月中旬	24日	人工	2	2						

繁殖数:15種121羽 完全成育数:13種72羽

してやりました。ほとんどの卵は孵化しましたが、多種類の鳥の卵を1台の機械の中に入れますので孵化温度、湿度などが微妙に違い、孵化しない卵も出ました。

孵卵器の中で孵化すると24時間は体を乾かししたりするために孵卵器の中で飼います。その後、育雛箱に移し約10日齢まで飼育します。箱の大きさは間口60cm、奥行90cm、高さ35cm位の箱で熱源はサーモスタット付のひよこ電球です。温度は35℃に設定し、エサは白菜、パンを細かく切ったものに水を加え、与えます。11~20日齢のヒナはバードケージ内の育成室に移します。間口170cm、奥行300cm、高さは220cm位の部屋で、ひよこ電球で中をあためてやります。中には敷ワラを敷いてやり、水浴びができるように小型のプールに水をはってやります。21~80日齢のヒナは隔離舎に移し、ほとんど親鳥と変わらないぐらいまで、飼育します。熱源もなく、エサも、親鳥が食べるエサと同じ大きさにしてやります。バードケージ外で飼育していますので、他の動物にも注意しなければなりません。隔離舎の中に部屋を作り、夜間はその中で育てるようにしました。体も大きくなり、飛べるようになるとバードケージ内に放し、ほかの鳥と同居させました。



自然孵化したキンクロハジロ

§ 終りに

今年是新動物舎での繁殖で、環境に動物が馴れていないわりには産卵、繁殖に成功しました。またシュバシコウなどは予想以上に順調に成育しました。ガンカモ類では期待しながらもまだ成功していないものもいますので、今後、それらの水鳥が産卵しやすい環境作りに努め、より一層繁殖数を増やす努力をしたいと考えています。

(飼育課:三浦 正明・土谷 正道)

「こぐまさんコンニチハー今日ハ、元気だった？」
「アー、ずいぶん大きくなったわネー」お母さんがホッキョクグマ舎の前で子供に話している情景によく出会うこの頃です。きっとこの春にこゆきちゃんを見に来てくれた親子なんでしょう。こんな広い放飼場では子熊のこゆきもまだ小さく見えていますが、それでも春にお目見得したときにくらべれば、ずいぶん大きく成長しているのです。飼育担当の浅田さんの推定では体長約1m、体重でも約80kgくらいあるのではと話しています。実際、寢室で間近かに見ると春にはスピッツの子犬くらいだったのが、5〜6倍にはなつてたくましささえあります。お母さんのユキコやお父さんのユキオが来園したときはこれよりまだ小さかったのを覚えています。まだ牛乳にパンをひたしたのなどを喜んで食べていたのです。

最近のユキコの様子をいま少しお話ししましょう。運動場では母親から離れてほとんど一日中プールで泳いだり、ボールで遊んだりしています。といっても朝は父親のユキオが運動場に出ていますので、こゆきと母親は12時からの出番？と交替制になっています。こゆきは早く運動場に出て遊びたいのか、いつも出口のシャッターを前足でかいたりしています。シャッターが開くのが待ちきれないようすがありますが、何分、雄も運動をさせる必要があります、こゆきががまんしていただいているわけです。

運動場でも、春頃は母親の胸のオッパイを飲んでは一しよに寝ていることが多く、ユキコの後足を枕に眠り込んだときなど、ユキコは足を動かしたいのをじつとがまんしている様子がよく見られ、なんともユーモラスで愛情の深さも伺われたものでした。



ブイで一人遊びをするこゆき

また、母親から離れては遠くに行かず、ちょっと母親が見えなくなるとギャーギャーと声をあげて母親をさがしたり、呼んでいるようでした。今では、そんなこゆきも一人？で遊びまわっています。ボールは、魚網のプラスチックのブイで球型とフットボール型の大小と計3コをプールに浮かせています。これをめがけて飛び込んだり、ボールを抱いてきて陸に上げたりあきることなく動いています。母親のユキコはいつも遠くからそっと見ているだけです。時々、こゆきはユキコのところにきて首筋や耳を噛んだりしてじゃれているのが見られますが、ユキコ

はそんなこゆきがかわいくてしかたがないといった風情で、眼を細めてなすがまにしているのです。ブイはこゆきが生まれる以前から北極グマに動きを出すために入っていますが、こゆき用にと小さいのを追加してやりました。

夕方4時になると親子も寢室に入りますが、こゆきは一番に飛んで来てシャッターの開くのを待っています。ユキコはまだ運動場において「入りたくないなアー」という様子なのですが、そんなときこゆきはユキコを呼びに行つて早く帰ろうという素振りをするということです。今、育ち盛りで食欲旺盛ですから早く夕食を食べたいのでしょうか、やはり一人？きりで部屋に入るのは不安なのでしょう。

餌は、朝に少量のクマペレットを与えられ、お昼に運動場でも若干の餌を与えているのですが、やはり夕食がメインディッシュです。今は親仔で馬肉を4.5kg、肉食動物用ソーセージ2kg、パン2kg、白菜1kg、アジ1.5〜2kg、リンゴ2コ、クマペレットなどを与えています。いつもこゆきが食べている間は母親はじつと見ているのですが、たまにお腹がすいたユキコが食べようとするとガーガーと大声で唸って食べさせないのです。「母親はやはり、こゆきがお腹一杯食べて早く大きくなって欲しいと思っているのでしょうか」と担当の浅田さんも目を細めています。結局大きな母親と同じくらいの餌を食べてい



母さんのオッパイ大好き!!

るのでしょう。こんなところにも母グマの愛情があるのだなと感じたものです。

9月頃までは母親のオッパイを飲んでるのを見かけましたが、その後は見かけなくなっています。冬に向かってますます食欲旺盛となつていくことでしょうから餌の量も増やしていかなければならないでしょう。

こゆきの完全な離乳と共に内部寄生虫の心配がありましたので、こゆきの検便を実施しました。その結果案の定回虫卵が認められましたので、早速、駆虫薬を飲ませました。以前に入園したホッキョクグマで回虫が多量に寄生し腸管につまってしまう、腹水症がおこり死んでしまった苦い経験がありましたので、回虫もおそろかにできない怖いものなのです。母親や父親もこれまで定期的に駆虫してきましたが、ユキコにも定期的に糞便検査を実施してゆきたいと思

っています。

しかし、何といつてもこれまで病気一つせず、また事故もなくすくすく成長してきたことは本当に喜ばしいことです。これも母親のこまやかな愛情で育てられたからでしょうが、飼育担当者やスタッフの緊密な協力があったたまものでしょう。事故で思い出しましたが、旭川では赤ちゃんグマが檻のすきま



お母さんお昼寝してないで遊ぼうよ!!

から前足を出して母親に前足を噛み取られるといった例があり、シャッターのすき間には目の細かい金網を張りたしたりしました。夏の間は午前中部屋にいますので風通しをよくするために随分と気をつかったものです。もちろん寢室にもプールがあって常時きれいな水を張ってやりました。また、扇風機も持ち込んでやりました。

「お父さんはどうしたの？」と子供たちがお母さんにたずねているのをよく耳にします。「お父さんはどうしたのかなアー、お仕事??」と返事をするお母さん。午後のホッキョクグマ舎の前に立つと色々な会話が耳に入ってきます。実際お父さんグマが見えないことに不審がる入園者が多いことはたしかです。北極グマの赤ちゃんの最大の敵はオスグマであることを多くの人たちは知らないのですが、私たちの説明不足も反省しなければなりません。たしかに、雄グマと母子グマと一緒に放飼場で遊ぶ姿が見られたらどんなにかいいでしょう。それができれば、朝昼



水遊び大好き

と交替で運動場に出す必要もなく、どんなにか楽になるのですが…。雄グマの攻撃の恐ろしさを知る私たちにはとても同居なんてできません。

4月頃だったかいつまでも泳がないこゆきをとり

あげてある新聞は「泳げないシロクマ」「カナヅチグマ」などと書きたてたものだから、動物園生まれのものは泳げないんだといういやなレッテルをはられかけたものでした。問い合わせも多く、ホッキョクグマの出産では先輩格の北海道の旭山動物園へも問い合わせました。生後半年もすれば母グマはプールに落すようにしたとかでしたが、旭山動物園とは、プールの構造も違いますし、私自身まあ、そのうちに自然と水になじむだろうと思っていました。

そんなことがあつてか、皆はいつ泳ぎ始めるかと注目というか気になり出してたのはたしかです。マスコミもプールの前で張り付いているようなありさまで、またこゆき人気は上つたようなことでした。そんなときついに泳ぎ出したのです。ちょうど休園日だった5月16日の午後、生後182日目のことでした。この日の大阪は今年3番目の暑さを記録し、夏を思わせる日差しでした。浅田さんも「もしや」と待ちかまえていた午後2時ごろ自分で飛び込んで10mほど犬？かきで泳いだのを見たのです。母親が押して水に入れたということではなく、我が子の初体験を目を細めて見守っていました。

じつは、私たちは一つの別の心配をしていたのです。それは「プールの上り口を覚えているか」ということでした。母グマならどこからでも陸にあげられるのですが、子グマの身長では、中央の1ヵ所だけが階段状になっているからでした。プールの両端からではとても無理で、万一のとき母グマがくわえて



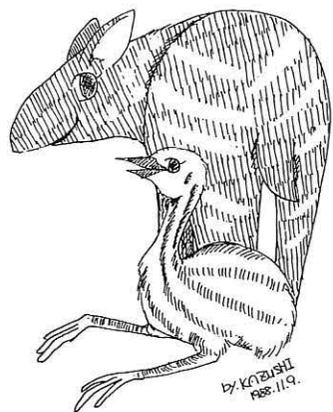
スピッツのような頃のこゆき

おこうとか……。プールの水位はできるかぎり上げて陸に取りつきやすいようにしてやりました。結局、そんなことは取りこし苦労というものでしたが…。とにかく北海道の動物園以外ではホッキョクグマは繁殖に成功しないというジンクスを破って、成功したこゆきの育成ぶりはこの1年何かと話題を提供してくれましたし、私たちも勉強になりました。この経験を生かして次の赤ちゃんの誕生に取り組みたいと思っています。

(飼育課長代理：樽本 勲)

☆ バクの赤ちゃんはどうしてお母さんと色がちがうのですか？

縞模様の子供の目印をいっ



バクの赤ちゃんは確かに変わった色をしていますね。でもこれも生まれて2ヶ月位までで、約半年位たつとほとんど親と同じ色合いになります。これは小さい時に外敵から身を守るための保護色になっているわけです。バクの住んでいる水辺近くの木もれ陽のさす下生えの中にと丁度いいカモフラージュの役目をはたします。同じような色模様になる動物にはイノシシが有名でウリ坊と呼ばれていますが、又、鳥の間でもエミュー等ではやはりバクやイノシシの子供と同じようなシマ模様しています。

(回答：大野 尊信)
(イラスト：本阪 恵子)

☆ 「私はイヌを飼っていますが、フィラリア症という病気は動物園の動物もかかるのですか」

「最近、腹が出てきたわ...」
「フィラリア かも知れないわよ。」



犬フィラリア症というのは蚊が媒介して感染する寄生虫症で、イヌの病気の中でもやっかいなもの1つです。このフィラリア症にかかると心臓の中に10~25cm位のソーメン状の長さの虫が寄生しますが、咳や貧血がひどくなり、おなかに水がたまったりして最後には衰弱死する恐い病気です。

ところでフィラリア(別名：糸状虫)というのはいろいろな種類がありますが、今回は犬フィラリアについてだけお答えします。

犬フィラリアという名のとおりに、この寄生虫はイヌに多く見られますが、動物園ではイヌ科の動物によく見られる寄生虫として知られています。オオカミやコヨーテ、タヌキ、キツネなどがそうですが、イヌに比べるとその感染率は低いようです。イヌ科以外の動物ではアシカやクマ、ハクビシン、トラ、ヒョウなどの食肉目の動物からの報告例があり、さらに変わったところではウマやニホンシカ、ビーバー、オランウータンからも報告されています。

(回答：宮下 実)
(イラスト：中村 尚美)

表紙		撮影者名	
1 ウォータードラゴン	長瀬健二郎	7 ホッキョクグマ	大川光雄
2 トビ	長瀬健二郎	8 ハリネズミ	宮下 実
3 スローロリス	森本委利	9 アメリカバク	森本委利
4 オランウータン	大東孝司	10 ウオクイワシ	野口秀高
5 アオハシインコ	榊原安昭	11 ボブキャット	長瀬健二郎
6 ハイイロコックジャク	長瀬健二郎	12 グリーンイグアナ	長瀬健二郎
動物と私		執筆者名	
1 難波利三 作家		7 伏原納知子 イラストレーター	
2 梅井純子 イラストレーター		9 金尾恵子 絵本作家	
3 根ヶ山光一 武庫川女子大学文学部講師		10 久田雅夫 日本写真家協会会員 東京都鳥獣保護員	
4 大島和男 動物写真家		11 佐藤邦雄 イラストレーター	
5 岡安直比 京都大学理学部動物学教室		12 麻生 泉 造園コンサルタント	
6 藤下英也 大阪府自然環境保全指導員			
お目見え動物		撮影者名	
1 アカカンガルー初顔見せ	森本委利	7 アカハシハジロの人工育雛	野口秀高
2 ブラックバックのニューリーダー	新出悦央	8 グラントシマウマに赤ちゃん誕生	大野尊信
3 今年はじめての赤ちゃんです	中川哲男	9 レアのヒナ誕生	野口秀高
4 ラマの赤ちゃん誕生!	藪野幸司	10 コジャコウネコに初めての赤ちゃん誕生	早川 篤
5 ホッキョクグマの赤ちゃん、お目見え	宮下 実	11 こんにちは! アメリカバクです	森本委利
6 ワライカワセミの人工育雛	新出悦央	12 大きくなったキジ類のヒナ	榊原安昭
動物園グラフ		撮影者名	
1 竜に近いトカゲたち	大野尊信	7 今年生まれの赤ちゃんたち①	土谷正道
2 ジャイアントバードケージ「鳥の楽園」は今	森本委利	8 今年生まれの赤ちゃんたち②	大野尊信
3 立春の園内風景	野口秀高	9 夏の思い出「サマースクール」	中川哲男
4 鳥たちの巣	早川 篤	10 動物たちのエサ	早川 篤
5 本州初のホッキョクグマの赤ちゃん	大川光雄	11 世界の動物園のシンボルマーク	大川光雄
6 日本で初めて完成したガラス張り猛獣舎	中川哲男	12 ただ今、活動中!	宮下 実

特別寄稿

- 1 辰の郷土玩具 平田 嘉一(郷土玩具蒐集家、「近畿おもちゃ通信」編集発行人)
- 1 ドラゴンにまつわる話 高田 栄一(高田爬虫類研究所代表)
- 2 太陽光線と動物 —北極熊が黒熊に写る— 中川 輝男(紫外線写真撮影家)
- 3 芸猿達のエピソード 村崎 龍雄(周防猿まわしの会調教師)
- 5 日本におけるホッキョクグマの繁殖状況 小菅 正夫(旭川市旭山動物園飼育係長
・ホッキョクグマ国内血統登録担当者)
- 8 屋久島のサル 鮫島恵理子(屋久島産業文化研究所)
- 11 サルの母性について 根ヶ山光一(武庫川女子大学文学部講師)

連載

- | | | | |
|-------------------|-------|---------------|--------------------------|
| 1 ケンちゃんの好きやねん動物園⑥ | 松葉 健 | 3 キーバーズ・アイ④③ | 東 政宏・早川 篤 |
| 5 ケンちゃんの好きやねん動物園⑦ | 松葉 健 | 7 キーバーズ・アイ④④ | 早川 篤・野口 秀高 |
| 9 ケンちゃんの好きやねん動物園⑧ | 松葉 健 | 11 キーバーズ・アイ④⑤ | 東 政宏・柴田 総
小谷 信浩・土谷 正道 |
| 2 獣医室から④⑤ | 榊原 安昭 | 4 動物なんでも相談室⑩ | 大野 尊信 |
| 6 獣医室から④⑥ | 森本 委利 | 8 動物なんでも相談室⑩ | 大野 尊信 |
| 10 獣医室から④⑦ | 森本 委利 | 12 動物なんでも相談室⑩ | 大野 尊信・宮下 実 |

飼育観察記事

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 2 キジ舎の繁殖苦労話 | 早川 篤 |
| 3 小形ネコ舎を担当して | 松下 達夫 |
| 5 ホッキョクグマの繁殖 | 浅田 保夫・土谷 正道 |
| 8 バードケージ「鳥の楽園」この1年 | 森本 委利・三浦 正明 |
| 10 ワライカワセミの人工育雛 | 早川 篤 |
| 11 サルの飼育にたずさわって | 原田 勉 |
| 12 「鳥の楽園」における水禽類の繁殖について | 三浦 正明・土谷 正道 |
| 12 ホッキョクグマ「コユキ」の話題から | 樽本 勲 |

紀行・記録・その他

- | | |
|-------------------------|---------|
| 4 アメリカ西海岸 北から南へ2,000km | 長瀬 健二郎 |
| 6 新しいネコ科動物舎「ヒョウ舎」の完成 | 中川 哲男 |
| 6 東南アジアの動物園を旅して | 土谷 正道 |
| 7 チンパンジーの飼育の歴史 | 中川 哲男 |
| 7 天王寺動物園のコアラ舎 | 樽本 勲 |
| 8 就任のごあいさつ | 西尾 照子 |
| 9 サマースクール特集 —子供達が見た動物達— | なきごえ編集部 |
| 10 長生き動物はだーれ! | 宮下 実 |

動物園日記 1~12 森本 委利

動物園ニュース 1~12 榊原 安昭

動物園ニュース

§ 上海動物園と動物交換

大阪市は中国の上海市と友好都市関係にあり、当園と上海動物園とは昭和49年から動物交換を行っています。今回第7次動物交換としてカリフォルニアアシカー一番とチャムネシャクケイ二番を贈ることにになりました。藤野勝吉管理課長を団長とする3名の交流団と動物は10月11日に大阪国際空港を出発しました。



贈った2頭のカリフォルニアアシカーは共に昨年6月に当園で生まれたものです。チャムネシャクケイは南アメリカに生息するキジのなかまで、当園では昭和57、61、63年と繁殖に成功しています。

なお、この返礼として来年の秋頃に上海動物園からレッサーパンダ一番とクロトキ二番が贈られてくる予定です。

§ ワライカワセミ豊橋動物園へ

10月12日にワライカワセミのメス1羽を豊橋動物園に贈りました。豊橋動物園ではオスを1羽だけしか飼育していないとのことでメスの寄贈の希望があったものです。

贈ったワライカワセミは当園で今年の5月に自然ふ化した3羽のうちの1羽で、出発に先立つ9月24日に内視鏡による性別判定でメスと判明したものです。豊橋動物園でも二世を誕生させてほしいものです。

§ 秋の動物園まつり

恒例の秋の動物園まつりを10月16日から11月6日までの5日間の日曜、祝日に開催しました。

期間中、北園ステージでは幼稚園児のお遊戯や紙芝居、手品、奈良佐保女子短期大学のみなさんによる人形劇などを行いました。

また、今年初めての試みとして「こんにちは、どうぶつくん」と題して当園の飼育担当者がインタビュー形式で担当動物を紹介しました。

レクチャールームでは10月16日には毎月行ってい



現在、今年初めての試みとして「こんにちは、どうぶつくん」と題して当園の飼育担当者がインタビュー形式で担当動物を紹介しました。

現在の飼育動物数

(昭和63年10月31日現在)

哺乳類	13目	104種	456点
鳥類	20目	198種	686点
爬虫類	3目	34種	85点
計	36目	336種	1,227点

る「動物のお話とスライドの会」として「動物園のおじさんの1日」と題して飼育係や獣医師の仕事のスライドで紹介し、他の4日間は動物映画会を行いました。

また、恒例の当園獣医師による動物無料相談も事務所前で行い、北園展示館では「どうぶつの赤ちゃん写真展」と題して当園で生まれた動物のかわいい赤ちゃんの写真を多数展示しました。

一方、大阪動物園ボランティアーズも動物園まつりに参加し、午前中はステージ活動、午後はスポットガイドと幅広く活動を行いました。特に今回のステージ活動では「とっ

てもかわりものキーウイくんをじっくりかい」と題するキーウイの生態を紹介した新しい紙芝居も上演しました。



§ 近畿ブロック動物園技術者研究会開催

本年度2回目の近畿ブロック動物園技術者研究会が10月21日に当園のレクチャールームで開催されました。



近畿地区の14の動物園から26人の飼育関係者が集まり、京都市動物園の「フラミンゴの繁殖について」を始めとする11題の研究発表について熱心な討議が行われました。

● お知らせ

テレフォンサービス実施中
8月22日から入園案内用のテレフォンサービスを行っています。催し物、トピックスなど魅力たっぷりの動物園の案内を24時間行っていますのでご利用ください。

電話番号 771-9999

● 動物のお話とスライドの会

12月11日(日) この一年の出来事
時間：午後1時~2時
場所：北園レクチャールーム

* 休園日のお知らせ *

動物園の休園日は毎月第3月曜日(休日の場合は翌日)です。2月までの休園日は下記のとおりです。
12月19日(月)、1月17日(火)、2月20日(月)
年末年始は、12月29日から1月1日まで休園いたします。
開園時間は、午前9時30分~午後5時までで、午後4時に切符売り止めになります。

キップスは便利をかたちにしたカード。

近鉄グループカード
〈キップス〉

会員募集中

KIPPS VISA JCB

◎近鉄百貨店でのお買物が5%割引など、近鉄グループの特典いろいろ。

お問合せとお申込みは各店クレジットセンターへ

●アベノ店7階 ●上本町店11階 ●東大阪店本館 ●橿原店6階 ●奈良店4階 ●西京都店1階 ●東京店7階

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



生態・飼育・図鑑が一つの本の
中にギッシリ

中川道朗・岩合徳光/監修
B5変型判・オールカラー
定価580円

動物園で暮らす様々な生き物達、
自然の中ではどんな暮らしをして
いるのか？ 動物園での世話
の仕方は？ 仲間は？ など、
写真と精密イラストをまじえ紹
介します。

くらしかいかたシリーズ<既刊本>

B5変型判・オールカラー・各定価580円

むしくらしかいかた

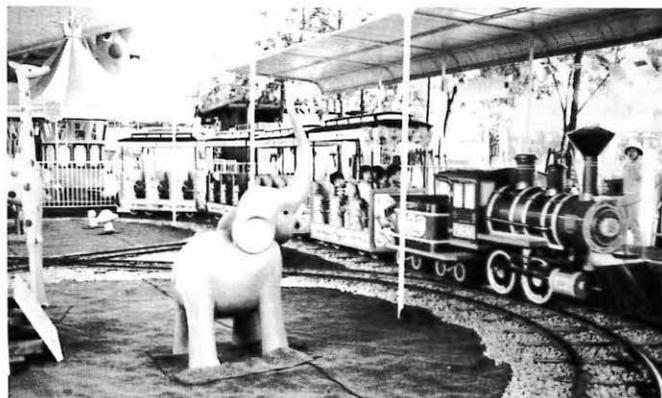
野山でみかける身近な昆虫たち
250種を紹介。

ちいさないきものくらしかいかた

昆虫以外の小さな生き物を320
種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 ひかりのくに株式会社 本社/〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表

たのしいのりものが待っています。



1人1回
100円
(1才まで無料)

団体割引
(30人以上)
……1割引

久竹娛樂株式会社
TEL (06) 541-3112

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

いま、フィルムは
頭脳をもった。



高画質時代をリードする

はるかに美しく

フジカラー SUPER HR

カラの大林

桜橋本店 ☎341-8091
三番街店 ☎372-5031

平岩米吉 著 日本狼の正史ついに完成

改訂六版

狼—その生態と歴史—

定価 2,800円
A5判・本文320頁
口絵・挿画等140図

☆犬科動物の研究者として知られる著者が数十年にわたり収集した正確な資料を、生態学の眼をもって描いた空前の書。日本狼は、大口の真神とあがめられた古代より、のちには病狼と恐れられ、やがて絶滅に至るまでの経緯を詳述。

主な目次

序章 狼への幻想と現実	第一章 犬科の分類と解説
第二章 犬と狼の関係 家犬の成立 犬と狼の相違点	第三章 日本狼の歴史 古代の狼害と狼の神格化
第四章 狼狩の記録 江戸時代の狼狩り	第五章 狼の伝説 間違いだらけの狼の姿態
第六章 日本狼の形態 日本における狼の研究	第七章 日本狼の絶滅 最後の日本狼
終章 狼を飼った人々 秩父宮殿下の狼。著者の飼った狼	

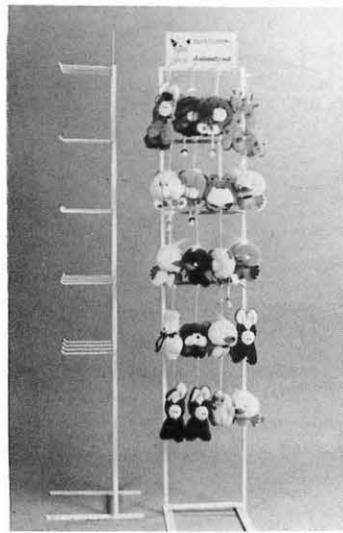
発行 動物文学会 〒152 東京都目黒区自由が丘3-12-2 電話(03)717-1659 振替東京5-9800 発売 樹池田書店 〒162 東京都新宿区弁天町43番地 電話(03)267-6821 振替東京2-60072

- 貸出品目/ビデオ「動物園へ行こう」
①巻・20分(10本常備)
- 対象/保育園、幼稚園、小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し、郵送料450円は必要)
- 申込先/当協会まで、電話かハガキで
お申し込み下さい。



大阪市天王寺動物園協会

〒543/大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

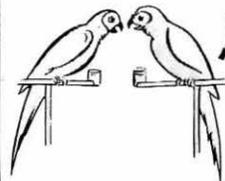


動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

各種ぬいぐるみ企画・製造・卸

有限会社 **アニメランド**

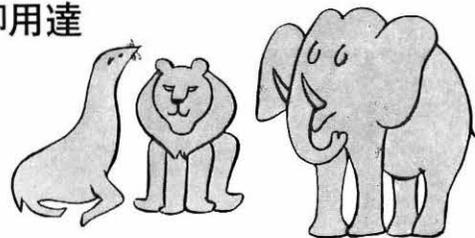
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号
TEL: (06) 704-8580
FAX: (06) 704-8565



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円



有限会社 **吉川商会**

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、 ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数カ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 20円

動物園内での お食事、ご休憩は

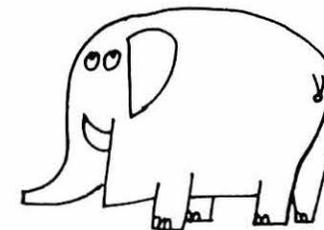
大阪市天王寺動物園内

中央売店

☎ (06) 771-0973



天王寺動物園内



南園売店

代表者 松谷良子

大阪市天王寺区茶白山町6-74
電話 (06) 771-7110番

園内でのお写真は… 動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機して
おりますのでご説明
に伺いました際は、
よろしくお願い致し
ます。

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせていただきます。
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

国際航空写真株式会社
TEL 06-856-7444

もっとおいしく もっと元気に!... 雪印



雪印 ヨーグルト 130g・250g

おなじみの果肉入りヨーグルト

新鮮です、さわやかです。フルーツが入った、おしゃれなヨーグルト。

ホワイトを基調にしたシンプルなデザインで、ヨーグルトのさわやかさにもピッタリです。

野生動物をみんなで守ろう

WE SUPPORT WILDLIFE!

天王寺動物園協会の売店に“WWF国際保護動物ぬいぐるみコーナー”が新設されました。このぬいぐるみの売上げの一部はWWFJ(世界野生生物基金日本委員会)に寄付されます。すばらしい野生動物を私たちの手で大切に守りましょう。

ぬいぐるみ販売コーナー新設



お申込み、お問い合わせは——

社団法人 大阪市天王寺動物園協会
(天王寺動物園内) TEL (06) 771-0201

株式会社 ファミリア商事部
TEL (078) 321-0345

- お電話でのお申込みは動物園協会まで。
なお、郵送の場合は実費を負担していただきます。

●WWF(WORLD WILDLIFE FUND)とは?
世界野生生物基金。世界中の危機に瀕している動物たちと、その自然環境を保護するための機関です。



なきごえ 昭和63年12月10日発行 (毎月1回10日発行) 第24巻 第12号 (通巻280号)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 中川道朗

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共) 1年継続(12部) 1,100円(送料共)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 大阪 37823

編集委員

(土井良彦/伊東重朗/藤野勝吉/樽本 勲/中川哲男/齊田 尚/宮下 実/長瀬健二郎/榊原安昭)
(森本委利/大野尊信/野口秀高/早川 篤/赤松 建/中垣圭史/大川光雄/山下賢二/土谷正道)